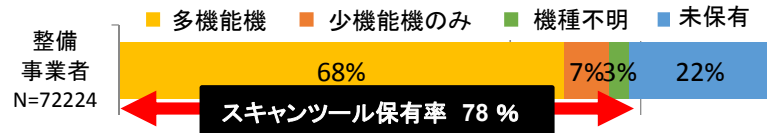


スキャンツールの使用状況（アンケート調査）

【スキャンツールの保有率】



【汎用型のスキャンツールに追加要望の高いシステム】



高度診断教育の検討

【人材育成体制の充実】 **新たな研修の開始**

- **ステップアップ研修**
現在全国で実施されているスキャンツール活用研修（応用研修）の内容よりもさらに高度な故障診断・整備技術を習得する。
- **フォローアップ研修**
スキャンツール活用研修（応用研修）のレベルの内容を継続的に行うことで技術力の維持を図る。
- **新技術研修**
近年実用化された自動車の新機構・新装置の構造・機能制御方法等を習得する。

汎用型のスキャンツールの新たな標準仕様の検討

【新たな標準仕様案＜車両総重量3.5 t 以下＞】

機能	DTC 読取・ 消去	作業 サポート	データ モニタ	フリーズ フレーム データ	アクティブ テスト	リリース 時期
ガソリンエンジン トランスミッション 排ガス抑制	○	○	○	○	○	現在の 標準仕様
ABS/ESC、EPS	○	○	○	○	○	
エアバッグ	○	○	○	○	-	
アイドルストップ	○	○	○	○	○	H29年度
ハイブリッド	○	○	○	○	○	H29年度
前方センシング デバイス（ACC、 被害軽減ブレーキ）	○	○	○	○	○	H29年度
タイヤ空気圧監視	○	○	○	○	○	H30年度
オートエアコン	○	診断の対象と機能の調査・検討が必要				H30年度

【新たな標準仕様案＜車両総重量3.5 t 超＞】

機能	DTC 読取・ 消去	作業 サポート	データ モニタ	フリーズ フレーム データ	アクティブ テスト	リリース 時期
ディーゼル エンジン 排ガス抑制	新長期	○	○	○	○	現在の 標準仕様
	ポスト 新長期	○	○	○	○	H29年度
トランスミッション	○	○	○	○	○	H30年度
ABS/ESC	○	○	○	○	○	H30年度
エアバッグ	○	○	○	○	-	H30年度
アイドルストップ	検討中					検討中
ハイブリッド						
前方センシング デバイス（ACC、 被害軽減ブレーキ）						
オートエアコン	未定					未定

拡大部分

検討中の部分は、今後診断対象となる機能等の調査・検討が必要

- DTC
車両の故障状態を識別するためのコード
- 作業サポート
車両の点検整備や部品交換の際に整備作業を効率的に行う機能
- データモニタ
リアルタイムで車両の制御に関する情報を読み取る機能
- フリーズフレームデータ
異常が発生してDTCが記録された時点の車両の制御に関する情報（エンジン回転数、車速等）
- アクティブテスト
不具合箇所を特定するためにスキャンツールから車両のECUに作動・停止等の命令を与えることにより、個別の動作確認等を行うこと。

今後の検討項目・課題

- 新たな標準仕様案について、故障診断や修理調整に係るフィージビリティスタディを実施する。
- 欧米におけるスキャンツールの活用の実態等について調査を行う。
- 日々高度化する自動車に対応するためには、継続的に整備士の技術力を向上させる必要がある。